

2020 年度外国語教育センターFD 活動方針・活動計画

2020 年度、外国語教育センターにおいて、以下の FD 活動を実施する予定である。

【英語教育部門】

1. 副センター長（英語教育部門担当）と専任教員が参加する英語教育部門内ミーティングをほぼ毎週開催し、授業運営や学生支援などについて、意見交換を行う。
2. 上述の英語教育部門内ミーティングの中で、随時ミニ FD 研修を実施し、授業改善に組織的に取り組む。専任教員が交代で授業の実践報告をしたり、教授法を紹介したりする。また、よりよい授業運営のための意見交換を行う。
3. 共通教育英語プログラムに携わる全教員を対象とした FD 研修会を年 2 回開催する。
4. *Nanzan Language Education Seminar* を開催する。
5. 共有教材である多読教材をさらに充実させる。
6. 推薦テキストを英語教育部門内の専用棚に置き、教員たちが自由に参照できるようにする。
7. *Foreign Language Education Center - English Education Division Handbook* の内容を更新する。このハンドブックを配布、活用することにより、共通教育英語プログラムの統一化を図る。
8. 年度末に LI 全員が 1 年間の振り返り、それを文章にまとめて副センター長に提出した上で、個別面談を行う。

【初習外国語教育部門】

1. 副センター長（初習外国語教育部門担当）と専任教員が参加する初習外国語教育部門内ミーティングを月 1 回開催し、各外国語の授業運営や学生支援などについて、意見交換を行う。
2. FD 研修会を各学期 1 回開催し、専任教員が交代で授業の実践報告をしたり、教授法を紹介したりする。また、よりよい授業運営のための意見交換を行う。
3. 各外国語において、専任教員による打ち合わせを週 1 回以上、専任教員と非常勤講師によるミーティングを年 1 回以上行い、授業運営や学生支援などについて、意見交換を行う。
4. 昨年度に引き続き、各外国語において、1 クラスにつき 2 名の教員が授業を担当する体制で円滑な授業運営を行うため、教材、進度、教授法などに関する改善案を随時検討する。
5. 年度末に LI 全員が 1 年間の振り返り、それを文章にまとめて副センター長に提出した上で、個別面談を行う。

【日本語教育部門】

1. 外国人留学生別科では、9月の学年はじめに日本語教育担当者（副センター長、専任教員、非常勤講師）を対象とした全体会議を開催し、別科教育全体の教育方針の確認と学生指導のあり方についてのFD研修を実施する。
2. 外国人留学生別科では、副センター長（日本語教育部門担当）と専任教員によるチーフ座談会を1学期に2回開催し、別科日本語教育について意見交換する。また各レベル内では、専任教員であるチーフを中心に、非常勤講師も含めた担当者全員で毎週ミーティングを開き、授業運営や学生支援などについての情報交換や調整を行う。
3. 外国人留学生別科のサマープログラムでは、プログラムの開始前に副センター長と日本語教育担当者（専任教員、非常勤講師）による「サマープログラム準備ミーティング」、また終了近くには「サマープログラム振り返りミーティング」を行い、教育内容について意見、情報交換を行い教育の改善に役立てる。
4. 共通教育の日本語については、関連科目担当者間で授業に関する情報交換を必要に応じて行い、授業運営に役立てる。
5. 共通教育の日本語のうち総合政策学部生対象の日本語については、指導教員が学期中に1回以上学生と個人面談し、生活面と学習面についての相談と助言を行い、それを必要に応じて担当者間で共有して教育に役立てる。

以上